

「未来高岡」ステップアップトーク（二上地区）会議記録 ＜要旨＞

1、日 時 平成 28 年 9 月 21 日（水） 午後 7 時 30 分から 8 時 30 分

2、場 所 万葉社会福祉センター

3、出席者 市民 117 名（うち女性 46 名）

高岡市 市長、経営企画部次長、広報統計課長

4、会議次第

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

.....

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

参加者

- ・高岡あっかり福祉ネット推進事業と支え合い事業との違いを、市からの支援の点も含めて具体的に示してほしい。
- ・福祉に関しては、民生委員だけでは人手が足りず、地域の福祉活動員の協力がなければ難しい状況になってきているため、できれば民生委員の数を増やしてほしい。民生委員の数を増やせないのであれば、せめて民生委員の活動の有償化を検討してほしい。

市長

- ・高岡あっかり福祉ネット推進事業については、小学校単位のネットワークはほぼ全校区にできたため、もっと専門的な方が関係するネットワークをつくりたい。
- ・民生委員の有償化に関しては、サービスの種類をできるだけ増やしながら、必要なコストについては利用者に少しずつ負担していただくのがあるべき姿ではないかと考えている。サービスの内容とその対価についても考慮しながら、必要な方に必要なサービスが行きわたるよう有償か無償かの線引きを考えていきたい。また、民生委員の数の問題も考慮しながら、今まで民生委員に担っていただいていた業務を地域の皆様に分担しあっていけるような工夫も併せて行っていきたい。

参加者

- ・現在の燃えるゴミ用のゴミ袋は、以前のものと比べ口が狭いうえ、材質上縦方向の力に弱く切れることがある。袋が切れにくい材質に変更することはできないか。

市長

- ・袋が切れやすいという話は以前から少し耳にしているが、在庫の問題もあるため、しば

らくは現在のゴミ袋を利用していただきたい。いろいろなご意見を踏まえながら、高岡地区広域圏事務組合で新しいゴミ袋を作成する時期に合わせ検討していきたい。

参加者

- ・活性化を図るためのまちづくりの方策として、中心市街地はお年寄りが集える場所、駅南は若者やファミリー層が住む場所として位置付けてはどうか。

市長

- ・現在、高岡駅のそばに看護専門学校の建設工事を進めている。来春には開校予定であり、若者が集まることでまちの活力になっていくのではないかと期待している。その他、高岡駅周辺では、富山銀行本店やホテルの建設、末広町でのテナントビルの計画などがある。これらをきっかけとして新しいまちの姿をつくり、また、お年寄りが安心して楽しめる中心市街地となるよう心がけていきたい。

参加者

- ・二上地域は市街化調整区域が多く、企業誘致や住宅団地の造成などに制限があり、新しいまちづくりが難しい地域である。また、県内で地価が下がっている状況では、若者はなかなか同地域に住もうとしないのではないかと。市町村だけで解決は難しいかもしれないが、市内における市街化調整区域の見直しを図ってほしい。

市長

- ・地元で計画的に住宅団地を造成する話などがあれば、市にご相談いただきたい。市街化調整区域の見直しは、概ね 10 年に 1 度程のペースで行っており、ちょうど今年行ったところである。今回見直した地域の中に二上地区は該当していないが、具体的な開発計画などがあればご相談いただきたい。現在、農地をそれ以外の用途に変更していくことは難しいことから、いろいろな課題等を整理していきたい。
- ・現在市内にある工業団地の大部分が分譲済みのため、今回の市街化区域の見直しで 10ha の工業用地を確保しており産業立地を進めていきたいと考えている。また、大規模な住宅団地の造成が進んでいる場所や市街化区域の中でも整備が進んでいない場所については、宅地化を進めていくなど地域に応じたあり方を考えていきたい。